

中学校 第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成26年 月 日 ( ) 第 校時  
 ○ ○ : ○ ○ ~ ○ ○ : ○ ○

対 象 第2学年 ○組 ○名

学校名 ○ ○ ○ ○

授業者 職・氏名

会 場 ○階 ○年○組教室

1 単元名

Lesson 2 Gestures いろいろなジェスチャー TOTAL ENGLISH 2

2 単元の目標

- (1) 学んだ表現を用いて、ペアで協力して積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図る。
- (2) 過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)を用いて表現したり、相手に尋ねたり、適切に応答したりする。
- (3) 過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)を用いた文を聞いたり読んだりして、その内容を理解する。
- (4) 過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)の文構造を理解する。また、同じ動作でも国によって意味が異なる場合があるなど、ジェスチャーと文化の多様性を理解する。

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①学んだ表現を用いて、ペアで協力して積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。 ②間違ふことを恐れず、意欲的に単語や英文を書こうとする。	①過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)を用いて表現したり、相手に尋ねたり、適切に応答したりしている。 ②強勢、イントネーション、区切りなどを意識して、本文の場面や人物の気持ちに即して正しく適切に音読している。	①過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)を用いた文を聞いたり、読んだりしてその内容を理解している。	①過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)の文構造を理解している。 ②同じ動作でも国によって意味が異なる場合があるなど、ジェスチャーと文化の多様性を理解している。

4 指導観

(1) 単元観

本単元では、文化が異なれば異なる意味をもつジェスチャーの例についての会話やスピーチが題材である。ジェスチャーの違いなどを理解することを通して、文化の多様性とコミュニケーションにおけるジェスチャーの大切さを学ぶ。

言語材料としては、過去進行形や複文（接続詞 when）、S+V+O(that で始まる節)の文構造を扱う。それぞれの文構造を確実に身に付けさせ、総合的に運用できるように指導する。また、この単元の学習後には「日記を書く」というプロジェクトライティングを行う予定である。過去の事柄について述べるための表現力を高めるとともに、I think～の表現を用いて「自分の意見を言う」活動を多く取り入れて、内容豊かな英文日記を書くための素地を養う。

(2) 生徒観

略

### (3)教材観

本単元ではジェスチャーの違いと異文化理解が題材となっている。グローバル化が進む中で、文化的な背景の異なる人々とコミュニケーションを取ることがますます大切になってきている。そのためこの単元の学習を通して、身振りやアイコンタクトなどのコミュニケーションスキルを高めることの必要性を理解させる。また、それらのコミュニケーションスキルを使い、自分自身に関する情報を伝え合うなど、コミュニケーションとして意味のある活動を取り入れることにより、それらのコミュニケーションスキルを使い、より豊かなコミュニケーション能力を育てる。

### 5 年間指導計画における位置付け

前単元の Lesson1 では一般動詞の過去形を用いた文について復習をした上で、be 動詞の過去形を学習した。これによって、過去の出来事について述べるとともに、その時の自分の気持ちも表現できるようになった。

また、S+V+O(that で始まる節)の文構造、特に think を用いる文の習得を通して「自分の判断や意見を述べること」もできるようになる。その上で継続的に日記を書かせるなど、自分の過去の出来事について記述し、その感想を述べさせる活動を多く取り入れ、生徒の英語での自己表現力を育てるとともに、過去の体験などについて感想を交えながら発表するスピーチ活動などにもつなげていく。

### 6 単元の指導計画と評価計画（7時間扱い）

	ねらい	学習内容・学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出の文構造を理解する。</li> <li>学んだ表現を使う。</li> <li>Lesson2 全体の概要をつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去進行形を用いた文を導入し、文構造を理解する。</li> <li>過去進行形を用いた文をできるようにペアで練習する。</li> <li>Lesson2 本文の概要を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エ - ① 過去進行形を用いた文の構造を理解している。(ワークシート)</li> <li>ア - ① ペアワークにおいて協力して積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。(観察)</li> </ul>
第2時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ表現を使う。</li> <li>教科書本文の内容が表現されるように音読する。</li> <li>教科書本文の内容を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去進行形を用いた文をできるようにペアで練習する。</li> <li>Lesson2A 本文の音読練習をする。</li> <li>Lesson2A の内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ - ①過去進行形を用いた文を正しい文構造で書いている。(後日小テスト)</li> <li>イ - ②強勢、イントネーション、区切りなどを意識して、本文の場面や人物の気持ちに即して適切に音読している。(観察)</li> </ul>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出の文構造を理解する。</li> <li>学んだ表現を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 when を用いた文を導入し文構造を理解する。</li> <li>オーラルイントロダクションで Lesson2B の大意をつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エ - ①接続詞 when を用いた文の構造を理解している。(ワークシート)</li> <li>ア - ① ペアワークにおいて協力して積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。(観察)</li> </ul>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文の内容を把握する。</li> <li>教科書本文の内容が表現されるように音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 when を用いた文をできるようにペアで練習する。</li> <li>Lesson2B 本文の音読練習をする。</li> <li>Lesson2B の内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ - ①接続詞 when を用いた文を正しい文構造で書こうとしている。(後日小テスト)</li> <li>イ - ②強勢、イントネーション、区切りなどを意識して、本文の場面や人物の気持ちに即して適切に音読している。(観察)</li> </ul>
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出の文構造を理解する。</li> <li>学んだ表現を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>S+V+O(that で始まる節)を用いた文を導入し、文構造を理解する。</li> <li>S+V+O(that で始まる節)を用いた文をできるようにペアで練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エ - ①S+V+O(that で始まる節)を用いた文の構造を理解している。(ワークシート)</li> <li>ア - ① ペアワークにおいて協力して積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしている。(観察)</li> </ul>

		アで練習する。	
第6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出の文構造を理解する。</li> <li>・教科書本文の内容が表現されるように音読する。</li> <li>・教科書本文の内容を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S+V+O(that で始まる節)を用いた文を導入し、文構造を理解する。</li> <li>・Lesson2C 本文の音読練習をする。</li> <li>・教科書 Lesson2C の内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イ - ①S+V+O(that で始まる節)を用いた文を正しい文構造で書いている。(後日小テスト)</li> <li>・イ - ②強勢、イントネーション、区切りなどを意識して、本文の場面や人物の気持ちに即して適切に音読している。(観察)</li> </ul>
第7時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文構造及び本文のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の言語材料のまとめを教科書 Review①の出題に答えながら行う。</li> <li>・教科書 Review②にあるジェスチャーについての英文を読み取り、出題に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ア - ②間違えることを恐れず、意欲的に単語や英文を書こうとしている。(ワークシート)</li> <li>・ウ - ①過去進行形や複文(接続詞 when)、S+V+O(that で始まる節)を用いた文を聞いたり、読んだりしてその内容を理解している。</li> <li>・エ - ②同じ動作でも国によって意味が違うことを理解している。(ワークシート・観察)</li> </ul>

## 7 指導に当たって

### (1) 授業形態の工夫

本校は全ての学年で少人数学習を通して個に応じた多様な指導を行っている。5月に行ったプレースメントテストの結果を基に英語が得意な生徒と、そうでない生徒が少人数学級に混在するように配置することで、教え合い学習による相乗効果を目指している。

### (2) 指導方法の工夫

文法事項については、ワークシートを用いて文の構造を理解させながら、ペアワーク・パターンプラクティス等の練習を通して定着を図っている。教科書本文に際しては、オーラル・イントロダクションで題材について生徒のもつスキーマを活性化させることと、できるだけ多くのインプットを生徒に与えることを心掛けている。しかし、意味も分からずに英語を聞いていても生徒にとっては有効なインプットとはならない。絵・写真などの視覚教材やその他の手段を活用しなるべく分かりやすい英語を使うことで、題材についての興味・関心を全ての生徒から引き出す工夫をする。

### (3) 教材の工夫

本校ではどの学年でも基本的に、教科書のセクションごとに文法ワークシートと読解ワークシートの2枚を使用している。文法ワークシートは新出の文構造の基礎ドリル、主にペアワークを主体とした言語活動、新出の文構造を使った自己表現活動用である。また、読解ワークシートは教科書の題材に関連する pre-reading 活動、本文についての読み取りの課題、T-F Quiz、Questions & Answers などの while-reading 活動、新たに学んだ表現などを含んだ英作文や教科書の要約文などの post-reading 活動用である。また、少人数学級の各担当者が同じ学習内容を指導するのに、同じワークシートを用いる。

さらに、帯活動として行っている教材や新出の文構造を定着させるために次の活動を行っている。

#### ア Bingo

単語力・リスニング力アップを目的として、基本的に毎時間行っている。クラスで最初にビンゴができた数名の生徒には the first bingo winners として、シールを与えることにしている。学年が進行するにつれ、ただ単語を読み上げるだけではなく、単語のヒントとなる英文を読み上げたりして、リスニング活動へ発展させるようしている。

#### イ phonics

アルファベットの音とつづりの関係を身に付けることを目的として、phonics 教材を(特に1学年の授業において)毎時間使用している。phonics が定着すると、単語の音とつづりの関係が理解できる。なお、第2学年の生徒は昨年度ほとんど phonics 教材に接していないため、2年次において改めて帯活動として取り上げている。

#### ウ pattern practice

新出の文構造を定着させるために、第1学年においては肯定文、否定文、疑問文とその答え方などの基本的な英文を10文程度ずつワークシートにまとめ、**pattern practice**として主にペアで暗唱練習に取り組ませている。本時では、**be**動詞の過去形と過去進行形も用いた英文の**pattern practice**を行う。なお、普段は授業で練習を行った次の時間にライティングの小テストを実施して、新出の文構造の定着を図っている。

## 8 本時（全7時間中の第2時間目）

### (1) 本時の目標

- ア 過去進行形、**be**動詞の過去形を用いた英文の作り方に習熟する。
- イ オーラル・イントロダクションやペアワークを通じて、**Lesson2A**の本文内容を理解する。
- ウ 内容が表現されるように音読する。

### (2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1.Greeting 1 min.	・本時のねらいを把握する。	・あらかじめ板書で目標を明示しておく。	
2.Warm-Up① Bingo 5 min.	・ビンゴを通して、既習単語の復習に楽しく取り組む。	・単語の読み上げスピードに注意する。	
3. Review  7 min.	・過去進行形の <b>Pattern practice</b> のワークシートを用いて、既習事項の復習に取り組む。	・ <b>Choral reading</b> で英文の意味と音声を確認した後、 <b>Buzz reading</b> に取り組ませる。 ・ペア同士で1分間ずつ練習させる。	イ - ① (後日小テスト)
4.Oral Introduction of Lesson2A  8 min.	・例示されたアメリカで使われているジェスチャー ( <b>I love you. Come here.</b> など) や日本と英語圏のジェスチャーについての英語の質問に答えることで、ジェスチャーについての背景知識を確認する。 ・ワークシートの <b>Warm-Up</b> を読み取り、英語圏のジェスチャーについての知識を更に深める。 ・ <b>Lesson2A</b> のピクチャーカードを用い、英語で質問に答えることで、教科書の英文の概要を理解する。	・教師の質問に英語で答えさせ、教師が例示するジェスチャーの意味を英語で確認させる。  ・ワークシートの <b>Warm-Up</b> を読み取り、ジェスチャーについての関心を更に深めさせる。 ・教科書本文だけではなく、ピクチャーカードの絵についての英語の質問をなるべく多く行い、本文の内容を全ての生徒に理解させる。	
5.Vocaburary Input  5 min.	・ワークシートの <b>Vocabulary building task</b> を用いて、新出単語の音読練習をする。 ・ペア同士で新出単語の意味を確認する。	・ワークシートの <b>Vocabulary building task</b> を用いて、新出単語の音読練習をする。 ・ペア同士で意味を確認させる。机間指導で個人の理解度を確認し、助言する。	
6.Reading Aloud  8min.	1. CD Listening 2. Choral reading  3. Buzz reading 4. Pair reading	・音読のために音声を再確認させる。 ・音声、イントネーション、リズム、ポーズなどに留意して練習させる。 ・ペアで暗唱することを留意させ、個人練習とペア練習の両方に取り組ませる。	イ - ② (観察)

<p>7. While-reading</p> <p>14 min.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文をペアで、一人が英文を読み、もう一人がその英文を日本語に直して、意味を確認する。</li> <li>ワークシートの T-F quiz と Q&amp;A に取り組ませ、本文の理解を更に深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアごとに、本文を英語から日本語に直して、本文の内容をつかませる。</li> <li>必ず、役割を交代させて、2回行わせる。</li> <li>机間指導で個人の理解度を確認し、助言する。</li> <li>ワークシートの Q&amp;A については板書して答えを確認する。</li> <li>時間が足りなくなるようであれば Q&amp;A は宿題とする。</li> </ul>	
<p>8. Consolidation</p> <p>2 min.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が例示するジェスチャーを見て、日本と英語圏それぞれの意味について英語を用いてペアで互いに発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の「こっちへ来なさい」と英語の”Come here.”のジェスチャーをそれぞれ示しながら、英語で質問してペアで互いに発表させる。</li> <li>次時への宿題の指示をする。</li> </ul>	

(3) 板書計画

<p><b>Today's Aims</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> phonics: review /</li> <li><input type="checkbox"/> practice of “was, were ...ing” through pattern practice (過去進行形の復習パタンプラクティス)</li> <li><input type="checkbox"/> comprehension of “Lesson 2A” (Lesson2A 内容理解)</li> </ul>	<p style="text-align: right;">May 22<sup>nd</sup>, Thursday</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本文で特に確認したい英文 (例) To Americans, that looks like the gestures for “Go away.”</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ワークシートの Q&amp;A の答え (例) 1. She was watching TV last night. 2. It was about gestures in different countries.</p> </div>
--	---